

シーズ紹介

○新任教員紹介

今年度、富山県立大学に着任された先生方をご紹介します。

生物工学科

教授 西田 洋巳



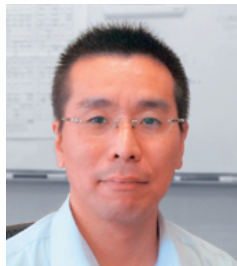
研究分野● 遺伝情報はゲノムDNAに刻まれています。その塩基配列の違いが生物の多様性を示します。多くの遺伝学者は塩基配列の変化の多くが偶然に生じてきたと考えていますが、私は必然的变化が無視できないほどあると考えて研究を行っています。

メッセージ● ゲノム塩基配列を読む時代から設計する時代へ移行すると考え、ゲノム進化機構の解明に取り組み、その機構に基づいたゲノム設計学の展開を目指しています。現在のところ、基礎と応用のギャップが大きく、企業の皆様の理解を得難い状況(平成25年度研究協力会奨励研究は不採択)ですが、今後そのギャップの縮小に努めます。

経歴● 平成6年4月～平成8年3月 日本学術振興会特別研究員(DC, PD)
平成8年4月～平成9年3月 理化学研究所基礎科学特別研究員
平成9年4月～平成15年6月 東京大学分子細胞生物学研究所助手
平成15年7月～平成17年10月 理化学研究所ゲノム科学総合研究センター研究員
平成17年11月～平成25年3月 東京大学大学院農学生命科学研究科特任准教授

情報システム工学科

准教授 榊原 一紀



研究分野● 主に、生産・物流における、生産計画、プロダクトミックス、在庫管理、スケジューリング、搬送ロボットの行動計画やトラック搬送計画などを対象に、数理モデリングやシミュレーション、解析・最適化を行う研究を進めています。

メッセージ● 行政レベルから日常生活に至るまでの様々な規模のシステムを相手に、かきこい設計・運用の実現を図ります。そこでは、ヒトを含むシステム全体をモデル化した「マン・マシンシステム」を陽に考慮し、新たな問題解決の方法論の確立を目指していきます。あらゆる「システム」を効果的に「最適化」していきたいです。

経歴● 平成16年3月 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程後期課程修了
平成16年4月～平成25年3月 立命館大学情報理工学部 助手、講師

環境工学科

准教授 畠 敏郎



研究分野● 微生物を使った環境修復技術に関する研究に取り組んでいます。具体的には、炭酸カルシウムなどの鉱物を原位置で析出させることで地震時の液状化抑制やコンクリート構造物のクラック補修に役立てることを目標としています。

メッセージ● 東日本大震災以降の自然災害に対する関心が高まっています。そのような背景のもと、対象となる地盤にすでに生息している微生物の機能を活用することで防災・減災効果を得る新しい技術に取り組んでいます。3,000m級の山々から深度1,000mの深海をもつ富山の豊かな自然を活かした新しい技術を世に送り出したいと思っています。

経歴● 平成6年4月～平成18年3月 株式会社フジタ 技術センター 研究員
平成18年4月～平成25年3月 長野工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授
平成21年8月～平成22年3月 Laboratoire d'étude des Transferts en Hydrologie et Environnement Grenoble Univ.1, フランス 在外研究員

機械システム工学科

講師 宮島 敏郎



研究分野● 機械の省エネルギー化や長寿命化に向け、機械しゅう動面の摩擦低減や摩耗抑制を目指し、材料のトライボロジー(摩擦・摩耗・潤滑)特性解明、表面強度評価法の研究、低摩擦実現のための表面創製法(砥粒噴射加工)の研究を進めています。

メッセージ● トライボロジーは、摩擦面に発生する様々な現象を対象とし、摩擦の制御・摩擦面の損傷低減や防止を目的とする工学の一分野です。また、機械の使用条件や使用環境で変化する複雑な現象です。このトライボロジー分野に関して、新材料のトライボロジー特性の解明、機械の摩擦・摩耗トラブルの解決等から貢献いたします。

経歴● 平成16年4月～平成17年2月 福井大学工学部 教務補佐員/産学官連携研究員
平成17年3月～平成20年3月 新潟大学自然科学系 助手/助教
平成20年4月～平成25年3月 福井大学大学院工学研究科 助教